

お手入れ用品・洗剤

情報を見る

お手入れ方法



参照 各器具の取り扱いについて：各器具に同梱の取扱説明書

日常のお手入れ用品

全体



柔らかい布



中性洗剤

大便器・手洗器用



トイレブラシ※



トイレ用洗剤※



スポンジ



歯ブラシ

※ 手洗器には使用しないでください。

水栓用

水栓に傷をつけずに、水あかななどの汚れを効果的に除去できるTOTO「蛇口まわりのクリーナー」のご使用をおすすめします。

お求めに関するお問い合わせ先：
TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター

お問い合わせ先 ▶ 裏表紙

使えない洗剤・道具

部位			使えない洗剤	使えない道具	
レストパルF／レストパル		FD			
L型	I型				
木質				・シンナー ・アセトン ・ベンジン ・酸性洗剤 ・アルカリ性洗剤（塩素系含む） ・研磨材入り洗剤 ・トイレ用洗剤 ・住宅用洗剤	・金属ブラシ ・金属たわし（スチールワール） ・紙やすり ・研磨材付きナイロンたわし ・ナイロンたわし ・たわし ・メラミンスポンジ ・乾いた布 ・トイレトペーパー ・先のとがった物（つまようじなど）※ ※ 樹脂のみ
	樹脂				
陶器・セラミック					・強酸性洗剤 ・強アルカリ性洗剤 ・フッ素系洗剤※ ・研磨材入り洗剤 ※ フッ化水素・フッ化アンモニウムを含む
	金属				

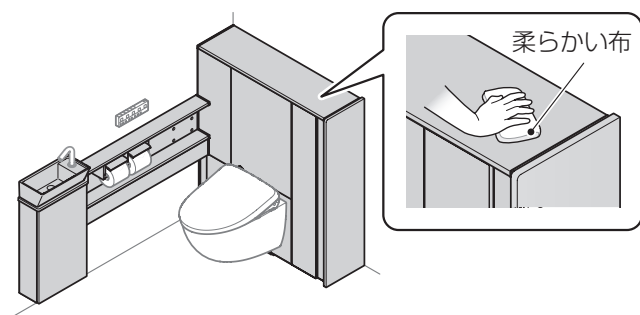
お手入れ方法

参照 自動水栓（ハイバックタイプ用以外）のお手入れ：自動水栓に同梱の取扱説明書
電気温水器のお手入れ：電気温水器に同梱の取扱説明書

レストパルF／レストパル／FD

キャビネット・カウンター・紙巻器・手洗器・天板

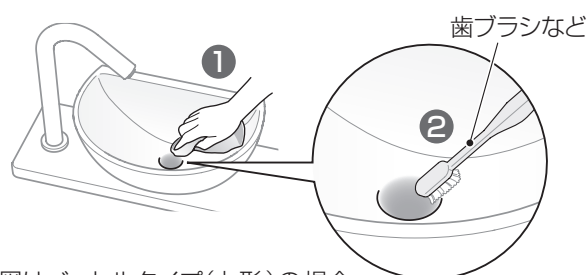
- ① 薄めた中性洗剤を付けてふく
- ② 水ぶきのあと、からぶきする



※ 図はレストパルF（L型）の場合

フランジレス排水口まわり

- ① 柔らかい布、スポンジなどで汚れをふき取る
- ② 清掃しにくい場合は歯ブラシなどで汚れを取る



※ 図はベッセルタイプ（丸形）の場合

ひどい汚れ

適量に薄めた中性洗剤を含めた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、水ぶきしてからからぶきする

レストパルF／レストパル／FD

電源プラグ

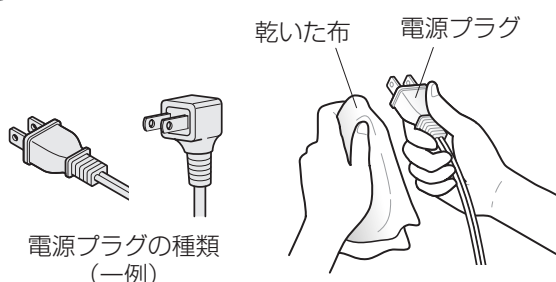


警告

禁止	コンセント・電源プラグに水・洗剤をかけない 火災や感電の原因となります。 万一、水がかかった場合は ブレーカーを落としてから 電源プラグを抜いて乾燥 させてください。	必ず守る ・電源プラグのお手入れは、コンセントから抜いて行う 感電の原因となります。 ・コンセント・電源プラグのほこりなどを 取り除き、根元まで差し込む 火災・感電の原因となります。
-----------	--	---

- ① 電源プラグを抜く

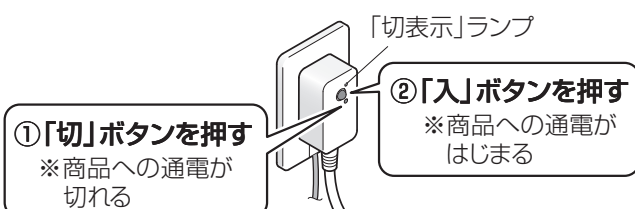
- ② 刃などのほこりを取る



電源プラグの種類
（一例）

- ③ 電源プラグを、根元まで差し込み
作動確認をする

※ ウォシュレットの電源プラグには、商品内部で漏電が起きたときに、商品への通電を切る「漏電保護機能」がついています。正しく作動するか確認してください。
※ 「切表示」ランプが、①で点灯、②で消灯すれば正常です。



①「切」ボタンを押す
※商品への通電が
切れる

②「入」ボタンを押す
※商品への通電が
はじまる

サイドカバー・大便器

⚠ 注意



必ず守る

ウォシュレット本体・便座・便ふた・サイドカバーなどのプラスチック部分は
乾いた布やトイレトペーパーなどでふかない

水でぬらした柔らかい布をよく絞ってふいてください。傷つきの原因となります。

※大便器用洗剤がキャビネット・ウォシュレット・サイドカバーに付着しないようご注意ください。



サイドカバー・大便器外面

柔らかい布で水ぶきのあと、
からぶきする



ひどい汚れ

適量に薄めた中性洗剤を含めた柔らかい布で
汚れをふき取ったあと、水ぶきしてからからぶき
する

大便器内面

軽い汚れ

トイレブラシやスポンジで水洗いする



トイレブラシやスポンジ

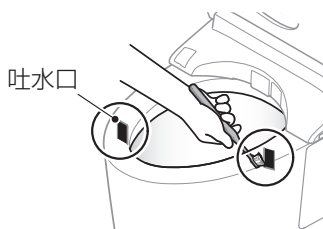


吐水口まわりの汚れ

使い古しの歯ブラシなどで掃除する



歯ブラシ



吐水口

水あかなどのしつこい汚れ

使用上のご注意

便座・便ふたは開けたままにしてください。

②③の項目は早め(3分以内)に行ってください。

洗剤から発生する揮発ガスが
ウォシュレットなどの内部に入る
ことにより、故障の原因となります。



① 汚れた部分の水分をふき取る

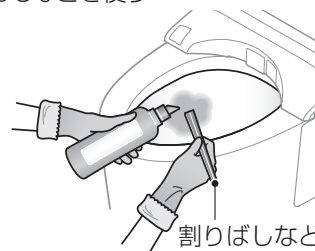


② トイレ用洗剤を汚れに直接かけ、 こすり洗いする

※ 取れにくい場合は割りばしなどを使う



トイレ用洗剤・
トイレブラシやスポンジ



割りばしなど

③ 水洗いする

大便器とウォシュレットのすき間

警告



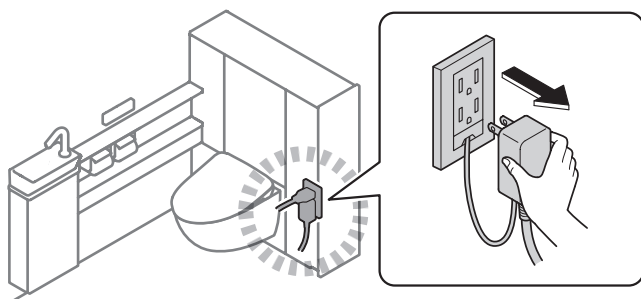
禁止

ウォシュレット本体を取り外す前に安全のためコンセントから電源プラグを抜く
また、抜いた電源プラグに水がかからないようにする
コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。

- 1 キャビネットの扉または点検口を開け、電源プラグを抜く

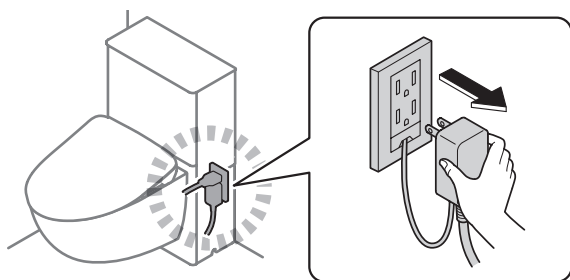
電源プラグ P.10

レストパルF／レストパル



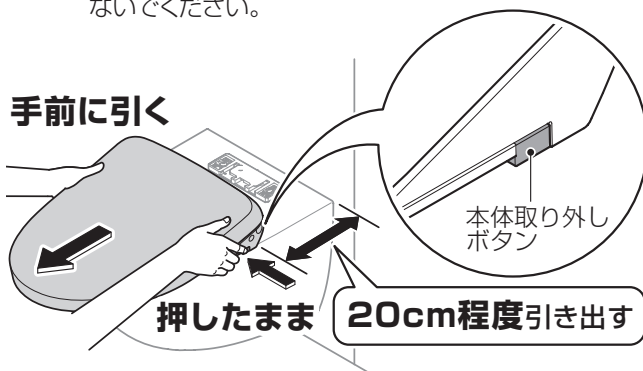
※ 図はレストパルF (L型) の場合

FD



- 2 ウォシュレット本体右側の本体取り外しボタンを押したまま、本体を手前に引く

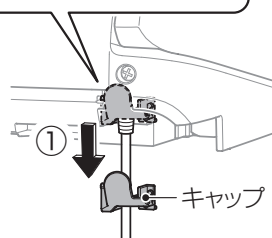
※ 給水ホース・電源コードがあるので、無理に引っ張らないでください。



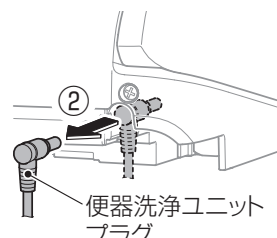
便器洗浄ユニットプラグを抜く場合

- 3 キャップを外し、便器洗浄ユニットプラグを抜く

プラグ接続口を確認



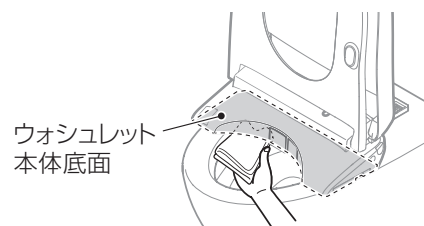
キャップを外す



プラグを抜く

- 4 適量に薄めた中性洗剤を含めた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、水ぶきしてからぶきする

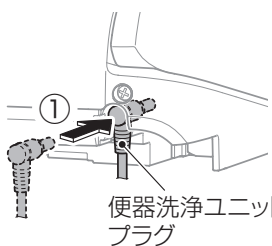
※ ウォシュレット本体を傾けないでください。
故障の原因となります。



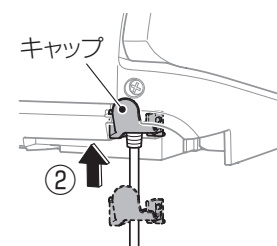
ウォシュレット
本体底面

便器洗浄ユニットプラグを抜いた場合

- 5 便器洗浄ユニットプラグを根元まで確実に差し込み、キャップを取り付ける

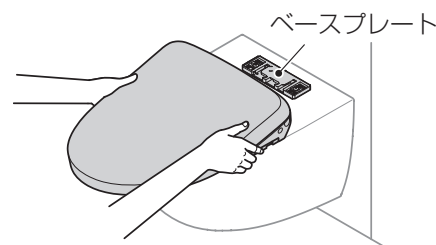


便器洗浄ユニット
プラグ



キャップ

- 6 ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心をあわせる



ベースプレート

大便器とウォシュレットのすき間

7 コードやホースをキャビネットの中に納める

⚠ 注意



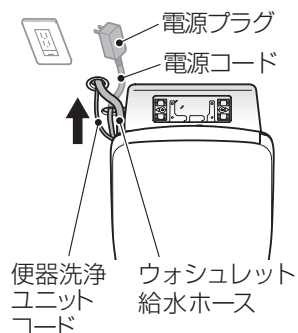
必ず守る

電源コード、ウォシュレット給水ホース、便器洗浄ユニットコードは、はかま目地材切り欠きに必ず通す
はかま目地材のシワや浮きの原因となります。

レストパル

はかま目地材なしの場合（壁排水）

コンセントが左にある場合

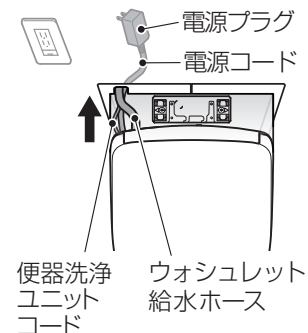


コンセントが右にある場合

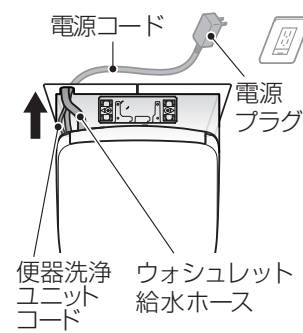


はかま目地材ありの場合（床排水）

コンセントが左にある場合



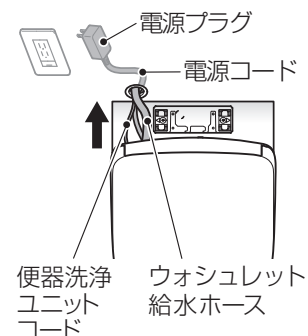
コンセントが右にある場合



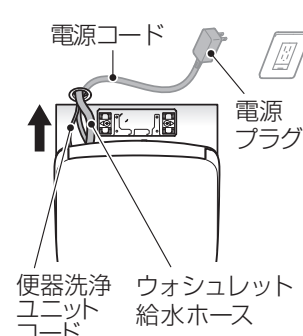
レストパルF／FD

※ レストパルF／FDに、はかま目地材はありません。

コンセントが左にある場合



コンセントが右にある場合



8 便器洗浄ユニットプラグが奥まで差し込まれていることを確認する

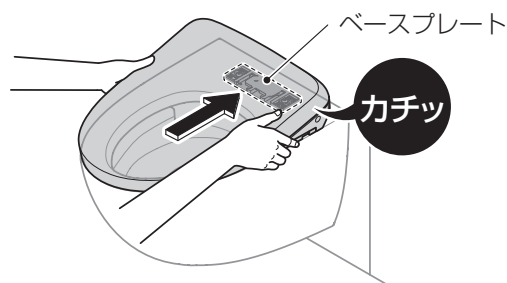
※ 正しく差し込まれていないと、オート便器洗浄しません。

便器洗浄ユニットプラグを抜いた場合 P.22 ⑤

9 大便器面にウォシュレット本体をすべらせて「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む

※ ウォシュレット本体を軽く手前に引っ張って商品が外れないことを確認してください。

※ ウォシュレット本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。



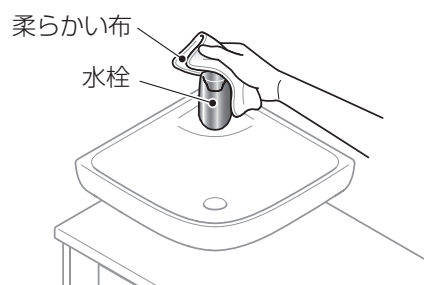
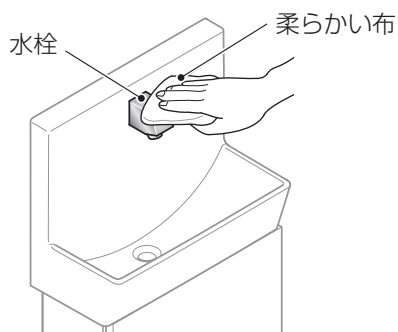
10 電源プラグを差し込む

電源プラグ P.10

11 キャビネットの扉または点検口を閉める

水栓

共通



※ 図はハイバックタイプの場合

軽い汚れ

水またはぬるま湯に浸した柔らかい布をよく絞って、水栓およびセンサー部の汚れをふき取る

ひどい汚れ

適量に薄めた中性洗剤を含めた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、水ぶきしてからからぶきする
吐水口から水栓本体側に水が伝い流れる場合は水栓吐水口の周りの汚れ・水あかなどをふき取る

※ 上記方法でも汚れが落ちない場合は、
TOTO「蛇口まわりのクリーナー」をご使用ください。
お求めに関するお問い合わせ先：
TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター

お問い合わせ先 ▶ 裏表紙

ハンドル式水栓

水量が少なくなってきたら…

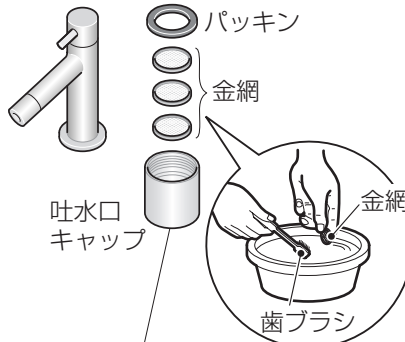
泡まつキャップ・金網

ベッセルタイプ(丸形)



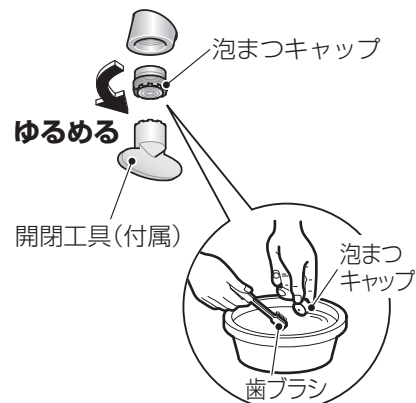
吐水口キャップは手で回して外す
※すべるときはゴム手袋
ゆるめる などをご使用ください。

ベッセルタイプ(角形)



吐水口キャップは手で回して外す
※すべるときはゴム手袋
ゆるめる などをご使用ください。

ハイバックタイプ



水栓

自動水栓

センサー部

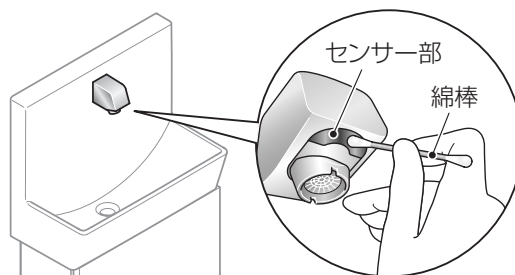
① 止水栓を閉める

止水栓の閉めかた P.11

② 綿棒で水ぶきする

※ ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を付けてふいた後、水ぶきしてください。

※ センサー面を傷つけないよう注意してください。



※ 図はハイバックタイプの場合

泡まつキャップ

水量が少なくなってきたら…

① 止水栓を閉める

止水栓の閉めかた P.11

② 泡まつキャップを外し、分解する

※ センサー面を傷つけないよう注意してください。

※ パッキンを針金などで外してから、プッシュ・内筒を外してください。

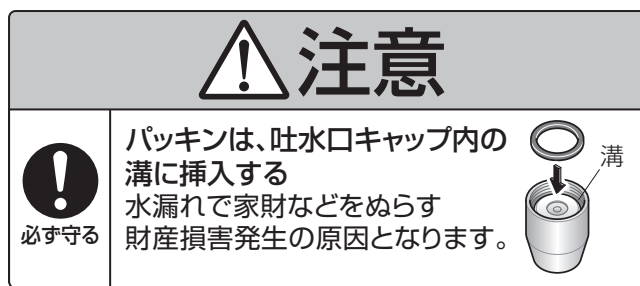
③ 吐水口キャップや内筒の網目に詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除く

④ 内筒の小穴のゴミを取り除く

⑤ 泡まつキャップを元どおり組み立て、取り付ける

⑥ 止水栓を開ける

止水栓の開けかた P.11



機能部フィルター

① 止水栓を閉める

止水栓の閉めかた P.11

② キャビネットの扉を開け、自動水栓機能部に組み込まれている機能部フィルターを開閉工具で外す

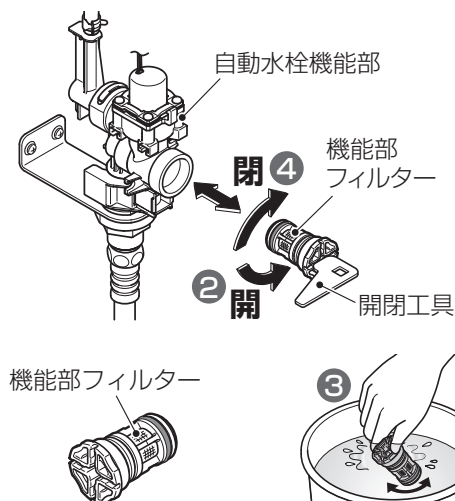
③ 機能部フィルターを水洗いする

④ 機能部フィルターを取り付ける

※ 機能部フィルターは奥まで確実にに取り付けてください。

⑤ 止水栓を開ける

止水栓の開けかた P.11



ドラムトラップ

手洗器の水はけが悪くなったら

市販の中性または弱アルカリ性「排水パイプ用洗剤」を使用し、ドラムトラップを洗浄する

⚠ 注意

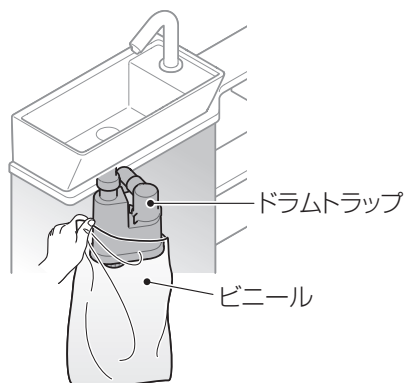


禁止

- ・酸性またはアルカリ性の排水パイプ用洗剤は使用しない
 - ・洗剤の使用後は十分な量の水を流し忘れない
- 手洗器排水管を傷め、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

手洗器排水口の詰まりが解消されない場合

- ① 手洗器キャビネットの扉を開ける
- ② ドラムトラップにビニールをかぶせる
- ③ ビニールの口をしっかり持つ

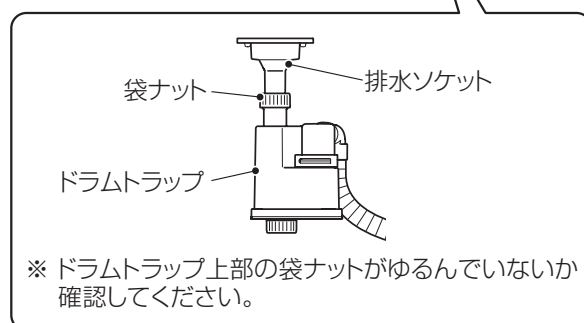
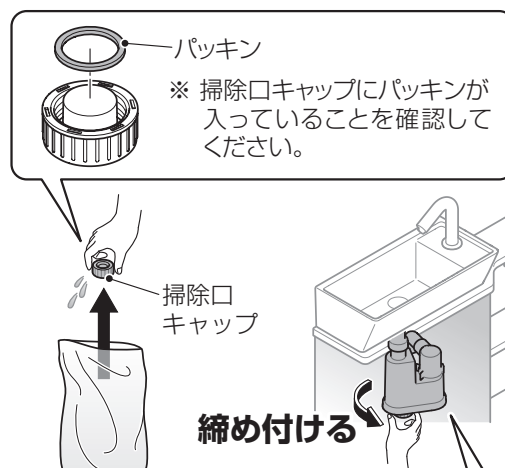


- ④ ビニールの外からドラムトラップが動かないよう押さえ、下の掃除口キャップをゆるめる



- ⑤ ドラムトラップの中のたまり水を出す

- ⑥ 水が完全に出たらビニールに入った掃除口キャップを取り出し、ドラムトラップが動かないよう押さえ、元の位置へしっかり手で締め付ける



- ⑦ 水を通し、水漏れがないか確認する

給水フィルター

給水フィルターが詰まると、タンクへ水をためる時間が長くなります。
その際は、給水フィルターの掃除を行ってください。

⚠ 注意



必ず守る

給水フィルターをお手入れなどで外すときは必ず止水栓を閉めてから行う
水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

- ① 止水栓がある側のキャビネット扉または点検口を開ける

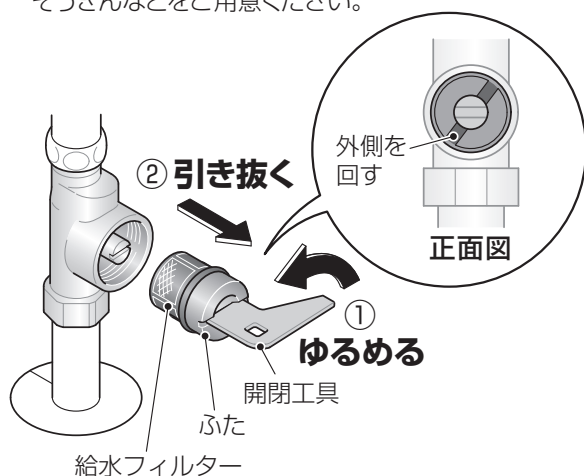
点検口の開けかた(FDの場合) P.11

- ② 止水栓を閉める

止水栓の閉めかた P.11

- ③ 給水フィルター・ふたを付属の開閉工具で外す

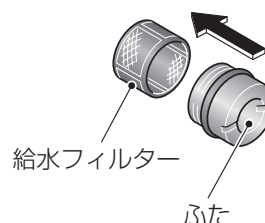
※ 少量の水がこぼれる場合がありますので、
ぞうきんなどをご用意ください。



- ④ 給水フィルターをブラシなどで掃除する



- ⑤ 給水フィルター・ふたを元どおりに取り付ける



- ⑥ 止水栓を回し、適当な吐水量に調整する

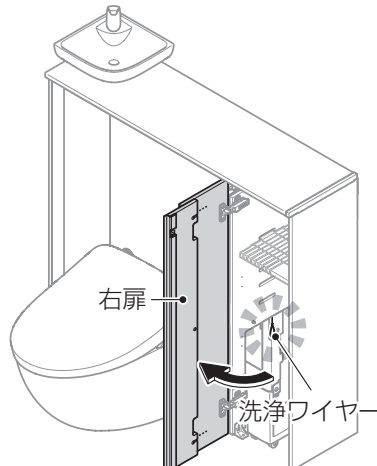
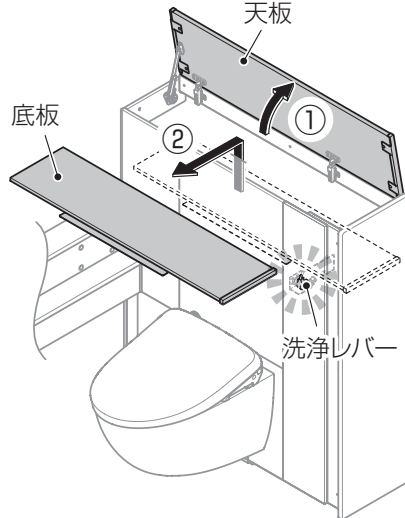
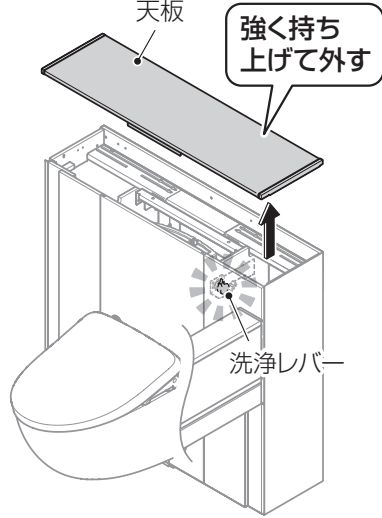
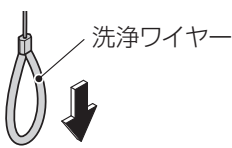
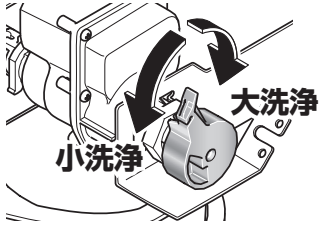
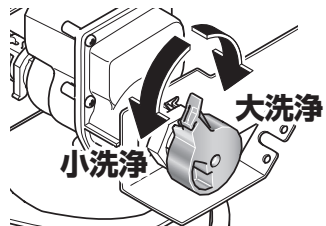
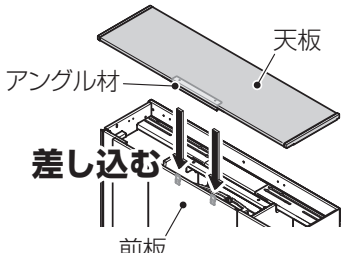
水勢調整 P.38

- ⑦ キャビネットの扉／点検口を閉める

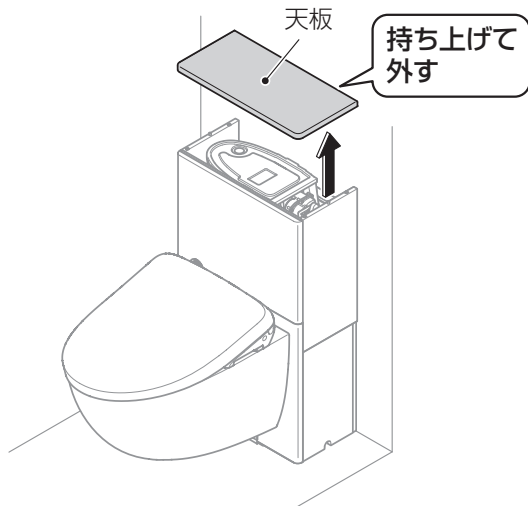
停電やリモコンの電池が切れたとき

※ 図は洗浄レバー、洗浄ワイヤーが右側にある場合です。洗浄ワイヤーは左側に付く場合もあります。

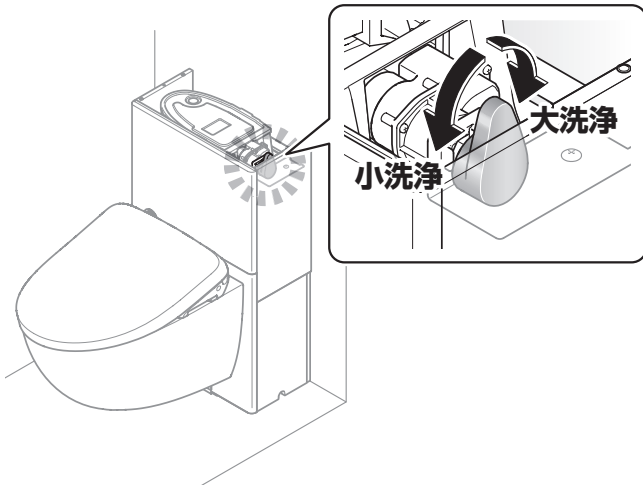
レストパルF／レストパル

I 型		L 型	
手洗器あり	手洗器なし	天板下収納あり	天板下収納なし
① 扉を開ける 	① 天板を開け、底板を外す 	① 天板を外す  ※ 天板はキャビネットに強力に固定されています。壁のクロスなどに十分気を付けながら取り外してください。	
② 洗浄ワイヤーを止まる位置まで引く 	② 洗浄レバーを回す 	② 洗浄レバーを回す 	
③ 洗浄が始まったら洗浄ワイヤーを離す 	③ 底板、天板を戻す	③ 天板のアングル材を前板の金具に差し込む 	

① 天板を外す



② 洗浄レバーを回す

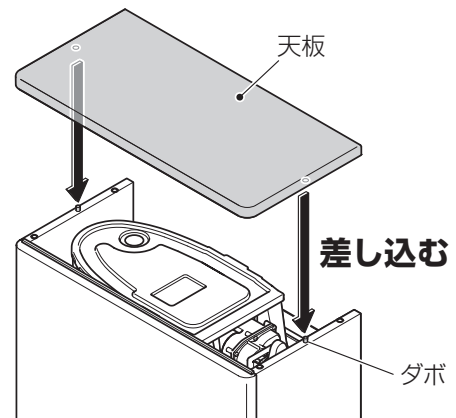


③ 天板を戻す

天板が木質の場合

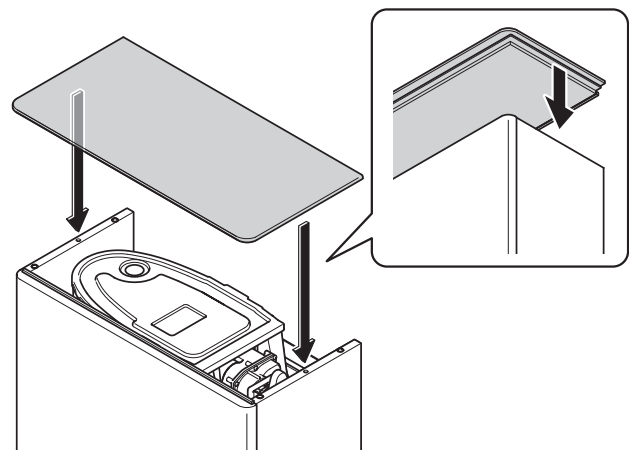
天板をコアキャビネットのダボに差し込む

※ ダボが外れた場合は、ダボをコアキャビネットに差し込んでください。



天板がセラミックの場合

天板の段差部分をキャビネットに載せる



断水するとき

① 大便器ボウル面の中心に水を勢いよく流す (8Lが目安)

※ 大便器ボウルから水があふれないように注意してください。

② 流したあと、水位が上がらなくなるまで ゆっくりと水をつぎ足す

(大便器配管からのにおい防止)



※ 図はFDの場合

大便器が詰まったとき

⚠ 注意



禁止

詰まった状態で水を流さない

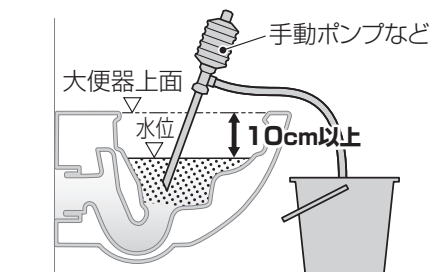
污水があふれ、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

① 止水栓を閉める

止水栓の閉めかた P.11

② 手動ポンプなどを使い、水位を大便器の 上面より10cm以上低くする

(污水あふれ防止)

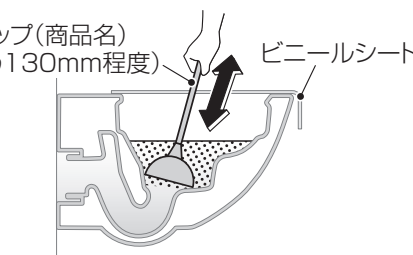


※ 図はレストパルF／FDの場合

③ ラバーカップをゆっくりと押し込んで 便器に密着させる

ラバーカップ(商品名)
※ 中型(φ130mm程度)

ビニールシートなど



④ 一気に引き上げる

※ トイレットペーパー以外の物が詰まった場合、詰まりを押し流すのではなく、引き出してください。
無理に押し流すと配管が詰まる原因となります。

⑤ トイレ詰まりが直ってない可能性があるため、 バケツでゆっくり水を流す

※ 詰まりを解消できない場合、専門業者へ依頼してください。

⑥ 止水栓を開ける

止水栓の開けかた P.11